

天文現象

- 3/ 3 新月
- 3/10 上弦
- 3/18 満月
- 3/20 金星が西方最大離角
- 3/21 春分
- 3/25 下弦
- 3/28～29 月、金星、火星、土星が並ぶ(明け方、東の低い空)

星空ニュース

2022. 3月の星空

上旬:21時頃 中旬:20時頃 下旬:19時頃



ベカロク ©dwarf/ 多摩六都科学館



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下

★星座盤の使い方



星座盤は空にかざして方位を合わせてみて！
空と重ねると…東西の向きが正しくなるよ。

ワンポイント星座



しし座

英雄ヘラクレスに退治された、人食いライオンの星座です。形のわかりやすい星座ですが、特に目を引くのがライオンの頭から胸にあたる「？」を裏返しにしたような星並びです。この形は、西洋で使う草刈りの鎌(かま)に似ていることから、「ししの大鎌」と呼ばれています。ししの大鎌の南端には、「小さな王」という意味を持つ 1 等星のレグルスが輝きます。

今月のポイント 3月下旬 明け方の空に注目！ ～月と惑星の集合～

今年の 3 月下旬の明け方東の空には、3 月 20 日に西方最大離角となる金星をはじめ、土星、火星の 3 つの惑星が集まります。さらに、3 月 28～29 日にはここに新月前の細い月が加わり、大変にぎやかな空の様子を楽しむことができます。早起きをした日には東の空にご注目ください。

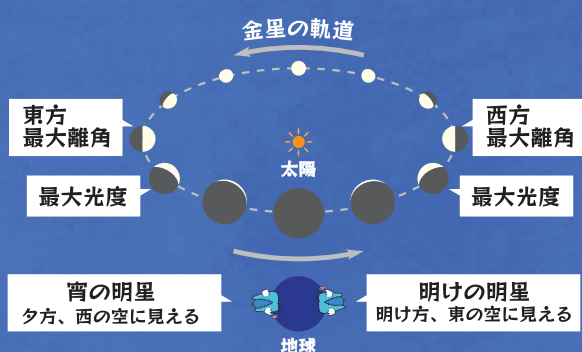


金星…マイナス 4.3 等
火星…1.1 等
土星…0.8 等
(月・惑星は実際よりも大きく描いています。)

参考：ステラナビゲータ 11© 株式会社アストロアーツ

コラム

明けの明星 金星を見つけよう



今年の 3 月 20 日、地球から見て金星が太陽の最も西側に位置する「西方最大離角」となり、夏頃まで明け方の東の空で明るく輝きます。金星は地球の内側をまわる内惑星のため、地球から見ると、太陽の光の当たる部分が変化し、月のように満ち欠けをします。この様子は、望遠鏡を使うと見るすることができます。金星の満ち欠けは、月とは違って見かけの大きさも大きく変わり、細く見える時ほど形の変化が早くなります。金星は肉眼でも楽しむことができますが、望遠鏡を使うと、より一層楽しみが広がります。望遠鏡をお持ちの方はぜひ、金星の満ち欠けの様子もお楽しみ下さい。